

三用小学校：国際科に関する評価（R7）②

国際科に関わる評価結果 学校評価より抜粋

令和7年度 2学期

学期に1回以上、外国の人や地域の方など、様々な人と関わり、学ぶことができたとする児童を全校の80%以上にする。	
自己評価	A:児童アンケートの肯定的評価94.5%

学期に1回以上、外国の人や地域の方など、いろいろな人と関わる機会を設定する。	
教員評価	A:どの学年とも設定できた

※10月の国際交流会では留学生から2名お越しいただき、自国の文化や風習を教えていただいた。その後、低・中学年は自分たちで説明をし、一緒に遊ぶ活動を行った。高学年は自己紹介等を英語で行うなどして自己表現をすることができた。いずれも児童は臆せずに活動ができていた。

外国の人や地域の方など、様々な人と関わり学んでいる。				
	すごくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	ぜんぜんあてはまらない
児童アンケート	71.2%	21.2%	6.1%	1.5%
保護者アンケート	11.3%	53.2%	25.8%	9.7%

※児童、保護者とも令和7年度前期（1学期）と微増・微減はあるものの、ほぼ同様の結果であった。学校では設定できている外国の方とのふれ合いの場が家庭・地域ではなかなか設定できない状況にあるのは致し方ない。今後も、HP、学校だより、学年だより等で学校での交流の様子や臆せず関われる子どもたちの様子等を知らせ、理解を得るようにしていく。

※今年度の研修の一環として、国際科の授業公開を5年生で行った。学習指導センターの指導主事をお招きし、国際科の授業のあり方を全職員で共有した。併せて、5年生はその学習の一つとして、10月25日に行われた地域の「新米祭り」にて多くの外国の方と交流し、自分たちが収穫したお米販売の売り込みを英語で行い、たくさんの方々に買っていただけた。

※第2回学校運営協議会（11月開催）において、今年度の取組内容を共有した。継続して留学生等と関わる場を持っていることに評価をいただいた。今後もこのような場を継続するようアドバイスをいただいた。